

募集中

第11回

市川手児奈文学賞

市川は〈葛飾の真間の手児奈〉が万葉集に詠まれて以来、そのむかしから多くの文学作品の舞台となってきました。文芸風土豊かな市川を詠んだ〈短歌・俳句・川柳〉を全国から募集します。

●募集作品 短歌・俳句・川柳の三部門（未発表のもの）

一部門につき一人五点までとする。複数部門への応募は可
一般の部・子どもの部（中学生以下）

●募集テーマ 「二〇一〇年市川を詠む」―市川の自然、文化、祭、

史跡や建物、市川ゆかりの人物などを題材とする。

●応募規定 ハガキまたはハガキ大の用紙に作品一点と、応募部門、氏名、

住所、電話番号、年齢（学生の場合は学校名・学年）を楷

書で記し、作品、氏名にはフリガナをふる。複数作品応募

の場合は一作品ずつそれぞれの用紙に記入する。郵送、ま

たは市川市内の複数施設に設置した応募箱へ投函のこと。

●応募締切 平成22年9月30日（木）まで（消印有効）

●選者 短歌 清水麻利子（花實同人）

俳句 能村研三（沖主宰）

川柳 岡本公夫（川柳新潮社同人）

●顧問 神作光一（東洋大学名誉教授）

●委員長 吉井道郎（作家）

●賞（一般の部） 大賞（各部門一点）賞状、賞金五万円

秀逸（各部門二点）賞状、賞金一万円

佳作（各部門三点）賞状、賞金五千元

（子どもの部）入選者には作品集を贈呈する。

●発表 平成22年12月（予定）入賞・入選者に文書で通知。

●作品集 入賞・入選作品を部門ごとに一〇〇点選定し、作品集

にまとめ発表する。入選者には作品集を贈呈する。

●著作権 本人に帰属する。ただし市川市がその作品を使用する

場合、入選者は使用を承諾したものとす。

●主催 市川手児奈文学賞実行委員会・市川市

応募先・

問合せ先

〒二七二〇〇一五 千葉県市川市鬼高一――四
市川市生涯学習センター3階 市川市文学プラザ内
市川手児奈文学賞係
電話：〇四七―三二〇―三三五四
<http://www.city.ichikawa.lg.jp/tekobun>



（切り取り線）

（事務局記入欄）



フリガナ

氏名

住所 〒

都 道
府 県

市 区
町 村

電話 ()

年齢 歳

学校名・学年
(学生の場合)

※ 字は楷書でお書きください
※ 作品・氏名にはフリガナを付けてください
※ 未発表の作品に限ります
※ この用紙には作品を一つご記入ください

フリガナ
作品

短歌・俳句・川柳

第11回市川手児奈文学賞 応募用紙

（切り取り線）

（事務局記入欄）



フリガナ

氏名

住所 〒

都 道
府 県

市 区
町 村

電話 ()

年齢 歳

学校名・学年
(学生の場合)

※ 字は楷書でお書きください
※ 作品・氏名にはフリガナを付けてください
※ 未発表の作品に限ります
※ この用紙には作品を一つご記入ください

フリガナ
作品

短歌・俳句・川柳

第11回市川手児奈文学賞 応募用紙

（応募部門を○で囲んでください）